

事務事業評価表(令和3年度)

Header table with columns: 事業コード (1007), 課コード (1501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1)事業概要, (2)目的, (3)事業内容, (4)達成目標, (7)事業実施上の課題と対応, and (8)施行事項 with detailed budget breakdown by fiscal year.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1)事業が今必要である理由, (2)市が実施する必要性, (3)参加・協働の工夫, (4)環境への配慮, (5)目標設定は適切か?, (6)事業費削減の工夫, (7)目標値を実現する為に.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, 縮小).

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1947	課コード	1501	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □經常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	放射能対策		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	教育総務部・総務課						
	③事業主体	●市 ○その他 ( )			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市									
	⑤事業期間	平成23年度 ~			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.1人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	398,917千円		当該(開始)年度	(当初)	890千円 (うち人件費 890千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 放射能対策総合計画					
(2) 目的	施策目的・展開方向	良好な生活環境を維持するため、定期的な環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や戸別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止します。また、PM2.5や放射性物質などの新たな環境問題については、国、県、近隣自治体と連携して対応します。			事業目的	福島第一原子力発電所事故に伴う放射能の除去を実施し、児童・生徒が安全で安心して学ぶ環境を整備する。									
(3) 事業内容	内容	福島第一原子力発電所事故に伴う放射能の除去を実施する。高さ5センチで、平均放射線量を毎時0.23マイクロシーベルト以下を目指す。放射線量の高い場所（ホットスポット）の除染を実施する。			当該年度執行計画	福島第一原発事故に伴う放射線低減策を実施する。局所的に線量の高い場所（ホットスポット）への対応									
		当該年度活動結果指標	除染実施校	単位	校	想定値	0		実績値						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	適切な業務委託、除染工事を完了し、安全で安心な環境を整備する。				直接	除染工事を完了した校数		校	0	0					
令和4年度					直接					0					
令和5年度					直接					0					
(7) 事業実施上の課題と対応	定期的な放射線量測定に基づき、対象箇所が生じた場合は速やかに除染対応を実施する。				代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		*	定期的な放射線量測定結果により対応		*	定期的な放射線量測定結果により対応				*	定期的な放射線量測定結果により対応		*	定期的な放射線量測定結果により対応	
		合計	0	合計	0	合計	0	合計	0						
		予算(決算)額	0	予算(決算)額	0	予算(決算)額	0	予算(決算)額	0						
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0						
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0						
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0						
	一般財源		0		0		0		0						
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0						
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.1		0.1		0.1		0.1							
	正職員人件費	870		890		890		890							
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0							
	臨時職員賃金額	0		0		0		0							
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	870		890		890		890							
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0千円/校		0千円/校												

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	福島第一原子力発電所事故により、被害を受けた施設について、除染工事をを行うことにより、児童・生徒の学習活動への影響を最小限にする必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因＞				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		＜その他の内容＞		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜その他の内容＞		＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ●③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 ＜その他の内容＞		保護者の協力を得ながら実施する必要がある。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由/期待以下であった原因＞		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 ＜その他の内容＞		放射能低減対策事業であるため。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (校)	目標値(b) (校)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	0	0	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (校)	達成率(%) (b/f × 100)	＜目標を達成した理由/未達成となった原因＞		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞		
	890	△20	＜削減の内容＞		＜超過理由等＞				
事業費削減率(%)		△2.3							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (e/h) × 100	＜目標値以上となった理由/目標値以下であった原因＞		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(令和3年度)

Header table with columns: 事業コード (2014), 課コード (1501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Detailed project information including objectives, content, budget, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進) and a table for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2240), 課コード (1501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for evaluation status and comments.